

ふりがな 氏名	すえかわ まさよ <b>末川 和代</b>	都道府県	福井県	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井大学教育学部 / 講師</li> <li>・消費生活アドバイザー</li> </ul>			
関心・活動のSDGs				
私のESD活動	<b>持続可能な社会を目指す家庭科及び防災学習の研究</b>			
<b>活動の概要</b>				
<p>近年相次いだ自然災害によって、防災は世界的関心事となりました。持続可能な開発目標においても、災害への取り組みが重視されています。東日本大震災後の日本では、災害対策基本法や次期学習指導要領等の法制・法規が改正され、防災学習による防災意識の向上等が図られたところです。これらの状況や大規模自然災害の発生が懸念される現状を考慮すると、家庭科において、個人・家庭が社会と関わり・協力しながら、災害に備える必要があることを理解し、一人ひとりの生活とそれを取りまく社会・自然環境に応じた防災を学ぶ意義は大きいと言えるでしょう。</p> <p>ここで家庭科の意義は、戦後教科が成立してから現在に至るまで、時代に即した議論がなされてきました。現在における家庭科は、生活の営みを衣食住消費生活等の視点から総合的にとらえ、個人がその人らしく、また周囲の人々と協力しながら、よりよく生きること、更によりよい社会を目指す教科です。生活を営む上で要する技能の習得を目指す「だけ」の教科ではありません。家庭科は、持続可能な社会の実現に向けて、極めて重視すべき教科なのです。</p> <p>一方で、家庭科の防災にかかわる学習について先行研究は極めて少ないことが分かりました。そこで、これまでの研究では、防災にかかわる家庭科の学習内容の変遷を明らかにし、現代の災害に関わる生活課題を抽出することで、家庭生活に対応した防災にかかわる学習内容を提案してきました。同時に、中学校・高等学校の家庭科教員として、生徒から多くのことを学ばせてもらいました。今後も、持続可能な社会を目指す教員として、「防災」と「家庭科」をキーワードに研究活動及び教育活動を継続したいと思います。</p>				
<p>・福井大学研究者総覧 <a href="http://t-profile.ad.u-fukui.ac.jp/profile/ja.71785e182ced5473520e17560c007669.html">http://t-profile.ad.u-fukui.ac.jp/profile/ja.71785e182ced5473520e17560c007669.html</a></p>				
<b>私が考える教育の未来像</b>				
<p>私の取組によって、実現したい教育の未来像は、次の点に集約できます。まず、子どもたちが、自分自身を「幸せ」にするためにはどのように生活を変えれば良いのかを、主体的に考えられる教育です。次に自分自身の「幸せ」が、自分を支える人々・社会・自然環境等にとっても、同様に「幸せ」であるかを考え、議論できる教育です。そして、地球で生活を営む生物の一員として、自分も皆も「幸せ」であるための生活の在り方を考え、希望を持って人生を送ろうとする姿勢を育む教育です。</p>				
<b>私の強み、活かせる経験やスキル</b>				
<p>「家庭科」と「防災」について、意義・役割また望まれる姿など現在議論されている事柄を情報共有することができます。また、今回のカンファレンスの成果を、自身の研究活動に活かし、教員を志す学生の育成に還元できます。</p>				